

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・陶芸	単位数	3
		学科・学年・学級	普通科(創造表現コース) 3年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸の多様な分野における基礎的な技法と表現を理解し、意欲的に制作する態度を養う。 ・工芸作品における美を探究し積極的に感じとる心を養う。 ・表現したい内容に合わせて素材や技法を選択する力を養う。 ・工芸作品の鑑賞のポイントを学び、美的感覚を養う。
使用教科書・副教材等	本校制作テキスト

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	日常生活の中から美や感動を見出し、創造力や発想力を高める努力をしているか。	制作に対する意欲や姿勢	20%
b. 発想や構想の能力	多様な表現様式を理解し、その特性を活かした創造的な表現を追求することができているか。	制作作品を元に表現の工夫や発想の展開を見る	20%
c. 創造的な表現の技能	意図に応じて素材や技法、用具を活かして表現することができているか。	制作作品を元に技法の習得や応用力を見る	50%
d. 鑑賞の能力	用と美について理解し自己の意見を持ち、互いに評価しあうことが出来ているか。	鑑賞態度 レポートなど	10%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	8	陶芸概論 制作環境の研究と整備	陶芸制作の基本と実際について学ぶ。 使いやすさと美しさの融合を理解する。	○		○	
	4	12	陶芸実習Ⅰ(土と練)	焼き物の技法と表現の基礎を学ぶ。 陶土と磁土について知る。 土練の基本を学ぶ。	○		○	
	5～6	20	陶芸実習Ⅱ(陶芸技法)	小物の制作を通して各種技法について学ぶ。 手練り・紐作り・板づくり・轆轤づくりの基本を学ぶ。	○		○	○
	6～7	20	陶芸実習Ⅲ(乾燥と焼成)	花器の制作を通して乾燥と素焼きについて学ぶ。 制作物の乾燥方法と不具合について学ぶ。 素焼きの手順と注意点について学ぶ。	○		○	○
	7	12	陶芸実習Ⅳ(施釉と本焼)	施釉の基本を学び適切な施釉方法を学ぶ。 釉薬の特性と施釉の技法について学ぶ。 本焼きの窯詰について理解する。	○	○	○	○
後期	8～12	38	陶芸実習Ⅴ(応用制作)	様々な技法を応用し、テーマに沿って制作する。 目的に合った土を選択できる。 乾燥の方法と養生の仕方について学ぶ。	○	○	○	○
	8～13	39	陶芸実習Ⅵ(応用制作)	テーマに沿ってイメージした器を作る。 土や釉薬の特性を生かした表現ができる。 形の美しさを追求することが出来る。	○	○	○	○
			陶芸実習Ⅶ(細密造形)	土や釉薬の特性を生かした表現ができる。 形の美しさを追求することが出来る。	○		○	○
	1～3	30	陶芸実習Ⅷ(展示と鑑賞)	展示方法の工夫ができる。 見せ方と鑑賞方法について学ぶ。	○			○